

いのちの言の葉

「やさしい心が一番大切だよ」

富山市立水橋中学校 対象：全校生徒、保護者

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年10月10日

「まわりのやさしさが人をやさしくし、人の
やさしさがまわりをやさしくする。」

いのちの大切さと生きることのすばらしさを教えて
いただきました。

【内容】

- 1 学年生徒会と生徒会執行部より人権尊重に関する取り組み状況の発表
- 2 生徒会執行部より小森さんの紹介
- 3 小森さんのお話
(いじめにより自死した娘をもつ母親の体験といのちの大切さ)
- 4 感想記入
- 5 生徒会執行部より感謝の言葉

小森 美登里 先生のプロフィール

ジェントルハートプロジェクト主催者。ジェントルハートプロジェクトは、いじめでわが子を失った小森新一郎さん、美登里さんご夫妻を中心に「やさしい心(ジェントルハート)」と「いのち」の大切さを伝え、「いじめ」のない社会を目指し、活動している会です。

今日の講演を聴いて、今の気持ちは言葉に表せないくらい、胸がいっぱいです。私たちは、傷つけられる筋合いも、人を傷つける権利もないと心から強く思いました。今の私は「やさしさ」がほしいと思い、人に「やさしさ」を与えたいと思っています。

人は、一人では生きていけません。私は誰かに必要とされたいと毎日思っています。人にやさしくされると、とても温かい気持ちになります。この温かい気持ちはとても大切なことなのだと、今日改めて気づくことができました。今あるいのちを大切に、お互いに助け合ってこれからも生きていきたいと思っています。

今日は講演していただいて学ぶことがたくさんあり、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

